

北秋田市消防本部 再編計画

北秋田市消防本部

はじめに

人口減少社会・超高齢化社会が叫ばれる現在において、地域防災の要である消防本部のあり方を再検討し、消防署所の再編計画を提案するものである。

現状

1.施設の老朽化

本部	昭和52年度建築	(41年経過)
森吉	昭和47年度建築	(46年経過)
阿仁	昭和48年度建築	(45年経過)
合川	昭和45年度建築	(48年経過)

2.救急需要の変化

昭和51年…524件 ⇒ 平成30年…1,504件

※約3倍となっている

3.人員不足

- ・分署が無人となるケースが頻発している（詳細は後述）
- ・現場対応に追われ、許認可や同意事務の迅速な対応が困難となっている

救急需要の変化

年	鷹巣	森吉	阿仁	合川	上小阿仁	計
昭和51年	216	123	70	68	47	524
平成元年	357	157	63	91	66	734
平成30年	617	286	171	299	131	1,504

- ◇高齢化や救急需要の変化により、**人口と反比例**となっている
- ◇救急救命士制度等により、救急隊員の任務がより重責となっている

救急需要の変化

年	鷹巣	森吉	阿仁	合川	上小阿仁	計
昭和51年	216	123	70	68	47	524
平成元年	357	157	63	91	66	734
平成30年	617	286	171	299	131	1,504

森吉・合川の救急の増加要因

地域医療圏の専門医療の役割分担により、二次医療圏である北秋田から、他の医療圏への転院搬送が増加
市民病院からの転院搬送を、森吉分署と合川分署が交互に担当

※転院搬送件数・・・年間147件
うち森吉・合川・・・113件

救急需要の変化

年	鷹巣	森吉	阿仁	合川	上小阿仁	計
昭和51年	216	123	70	68	47	524
平成元年	357	157	63	91	66	734
平成30年	617	286	171	299	131	1,504

阿仁・上小阿仁の救急件数

主たる出場区域の人口減により、他の分署に比べて出場件数が少ない

職員の現状

	鷹巣	森吉	阿仁	合川	上小阿仁	計
総人員	44	13	13	13	13	96
うち交替勤務	32	12	12	12	12	80
最低人員	9	4	4	4	4	25

分署の現状

最低人員4名で運用している

- ◇救急出場ただけで**分署が無人**となる
⇒非番者、週休者の招集で対応
分署が無人となった回数・・・207回
欠員補充要請・・・995回

平成29年度集計

- ◇火災時に要救助者がいても、**他の隊が来るまで救助活動ができない**
- ◇交通事故時にも、他の部隊を待たなければならないケースがある

分署があるのに、無人だったり、活動が制限されている

人員の推移

	鷹巣	森吉	阿仁	合川	上小阿仁	計	備考
昭和49年	33	14	14	14	10	85	
昭和57年	34	14	14	14	12	88	上小阿仁増員
平成8年	36	15	14	14	13	92	週休2日制対応
平成9年	36	15	15	15	13	94	〃
平成17年	39	15	15	15	13	97	市制施行
平成26年	42	14	14	14	13	97	本部増員
平成27年	44	13	13	13	13	96	指令センター開設
現状	44	13	13	13	13	96	

◇増員は「週休2日制」に対応するためのものであり、実稼動人員は増加していない

◇市制施行により、総務関連事務と消防団事務が移管された

◇平成27年の指令センター開設に伴い、専属職員を配置する必要が生じたことから、分署人員を削減した

◇総務専属職員も4人から2名に減員され、消防吏員が配置されている

⇒担当事務が増えている（総務、消防団、指令、各種調書）のに、それに見合った人員増がなされていない

消防再編の主たる方針

① 森吉分署と合川分署を統合する

- ◇阿仁部地域に、**本部と同規模の署**を配置する（最低人員7～8名）
 - ⇒2隊の出場が可能（車両配備数は現状のまま）
 - ⇒分署が無人となる回数の減
 - ⇒水難救助隊の配備
 - ⇒市民病院へのワークステーション開設も可能となる
- ◇女性消防吏員のスペース確保

② 阿仁分署、上小阿仁分署の出場区域の見直し

- ◇出場回数 of 平準化を図る
 - ⇒分署が無人となる回数の偏りをなくす

消防再編の主たる方針 2

③ 阿仁分署を高台に移転し、ヘリポートを併設する

- ◇土砂災害警戒区域から移転する
- ◇冬期間のヘリポートを管理できるようにする
- ◇国道105線沿いに建設し、現場への移動時間を短縮する
- ◇車両の大型化への対応（現状の車庫に新型車両が入らない）
- ◇女性消防吏員のスペース確保

④ 消防本部の更新

- ◇浸水想定区域であることへの対応
- ◇指令センターの更新スペースと並行運用期間の確保
- ◇女性消防吏員のスペース確保
- ◇車両の大型化への対応

統合分署建設場所について

旧合川東小学校校舎跡に建設する

- ・旧合川地区・旧森吉地区とのバランス
 - ・北秋田市民病院へのアクセス
- ※ドクターカー運用等の連携強化



建設費用

① 統合分署建設

※合併特例債対応

◇建設費 約420,000千円
◇設計費等 約30,000千円
計 約450,000千円

令和3年度 実施設計
令和4年度 建設工事

② 阿仁分署移転

◇建設費 約150,000千円
◇設計費等 約15,000千円
計 約165,000千円

令和4年度 実施設計
令和5年度 建設工事

総計 約615,000千円

※土地購入費、造成費、解体費用等含まず

※本部の更新については、秋田県が検討している消防広域化計画に左右されるため、今後の検討課題とする。

遅延区域一覧

項目	現状との時間差別 (分)	主な地域名					
所要時間の短縮	5分～6分	該当なし					
	3分～5分	該当なし					
	3分未満	下杉 桃坂	道城 市民病院	工業団地 北欧の杜	金沢 ※合川地区	弥栄	梅栄
		米畑 中新田	※森吉地区一部				
所要時間変化なし	0分	※吉野を除く鷹巣地区					
		鎌沢	雪田	杉山田			
		桐木岱 桂坂 巻淵	向本城 小又 根森田	鶴田 下前田	大沢 五味堀	阿仁前田 大岱	八幡森 新屋布
		※阿仁地区全域					
所要時間の延長	3分未満	川井 美栄 西根田	松ヶ丘 李岱 三里	上杉 新田目 摩当	八幡岱 福田 三木田	木戸石 羽根山	増沢 東根田
		米内沢 寄延	本城 白坂	日栄 大淵	長野岱	根小屋	
	3分～5分	吉野 惣内	浦田	桂瀬	下羽立	上羽立	
		該当なし					
	5分～6分	該当なし					

再編に向けた課題

①分署が減になることへの不安

◇大規模な署の配置によるメリットを丁寧に説明する

②財源の確保

◇合併特例債や緊急防災・減災事業債等の有利な起債の活用
◇指令センターの自治体間での共同運用による負担軽減
◇基金の積立てや活用
※現状においては国庫補助が見込めない